

上郡中だより 10月号

発行 上郡中学校
発行日 令和2.10.7
電話 52-0034
FAX 52-0413

<http://www.kamigori.ed.jp/kamityu/>



体育大会ありがとうございました

9月12日、感染対策を講じ、規模を縮小した形となりましたが、体育大会を無事に開催することができました。生徒たちがリレー種目を中心に、生徒会企画の競技や部活動行進に全力で取り組む姿は、学校の良さ、中学生の良さが伝わる感動的なものになりました。

保護者・地域の皆様には、人数の制限や検温、マスクの着用、密を避けての応援にご協力いただきましたことを、心から感謝申し上げます。

10月は、西播新人大会、3年生は修学旅行、2年生はトライやるウィークに代わるキャリア学習、1年生は集団づくりのための学年行事があります。実施は感染防止対策をしっかりと徹底することが前提となります。休日を含めた毎日の検温・健康チェックを引き続き行っていきますので、保護者の皆様のご協力をお願いいたします。

赤ちゃんふれあい学習（2年生）

9月23日、2年生が「赤ちゃんふれあい学習」を行いました。例年は町内在住の方に赤ちゃんを連れてきてもらい、抱っこしたりあやしたりもしますが、新型コロナウイルス感染防止のため、人形を使った模擬体験を中心に、「命の大切さ」を学びました。



文化発表会について

本年度の文化発表会は、日程を11月13日に変更し、午後のみの開催とします。合唱は行わず、スピーチや文化部の発表を中心に行います。芸術鑑賞会は中止します。なお、感染防止対策のため、鑑賞は生徒のみとさせていただきます。（ご了承下さい。）

教育実習実施中

9月28日から4名の本校卒業生が教育実習を行っています。10月16日までの3週間となっています。

10月の行事予定

31 (土)	漢字検定
28 (水)	尿検査
27 (火)	2年生トライやる代替行事 3年代休 集金日
26 (月)	2年生トライやる代替行事 3年代休 7時間授業日
25 (日)	修学旅行3日目（3年）
24 (土)	修学旅行2日目（3年） 赤とんぼ杯英語スピーチコンテスト
23 (金)	修学旅行1日目（3年） 学年行事（1年）
21 (水)	7時間授業日
20 (火)	5時間授業日
19 (月)	全校朝礼（放送）
18 (日)	西播新人大会
17 (土)	西播新人大会 理数甲子園ジュニア
16 (金)	後期教育実習最終日
15 (木)	眼科健診（2年全、3年3組）
14 (水)	7時間授業日
12 (月)	全校朝礼（放送）
11 (日)	西播新人大会（野球、ソフトテニス）
10 (土)	西播新人大会（野球、ソフトテニス）
8 (木)	眼科健診（1年全、3年1・2組）
7 (水)	学級・専門委員会 PTA理事会（19時30分）
6 (火)	中間考査2日目（午前中） 防災教育（4校時）
5 (月)	中間考査1日目（午前中）



大会・表彰関係

【ソフトテニス部】

◆西播新人選手権大会（9月5日）

男子個人戦

2位 大鳥 琉稀・岸田 瑛稀
3位 上山 誠志郎・淨原 慈穂

女子個人戦

優勝 岡村 紗来・平岡 未央
2位 小川 陽咲・三浦 菜摘
3位 澤田 優菜・溝川 ゆりあ

【女子バスケットボール部】

◆赤穂郡新人大会（9月26日）

優勝

【上郡町交通安全ポスター】

1等 坂本 華菜（3年）
2等 山内 心葉（2年）
西村 春佳（3年）
3等 中田 安佳音（2年）
増谷 心寧（3年）
田中 綾乃（2年）
佳作 岡本 真愛、橋本 和花
北村 心暖、村上 くらら（以上、3年）

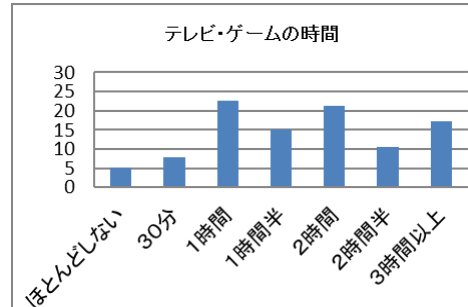
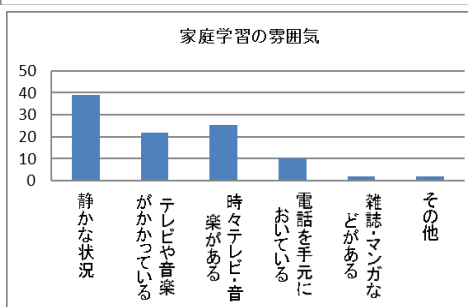
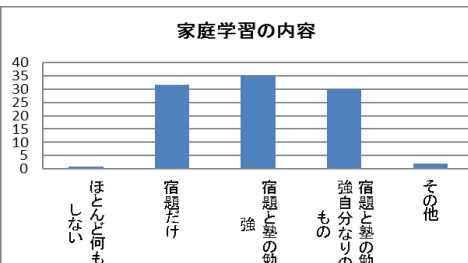
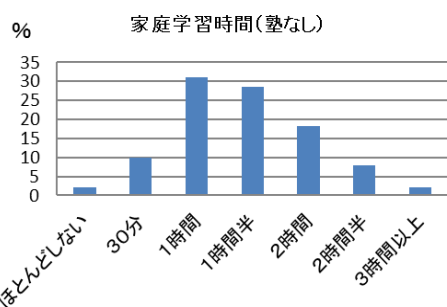


【愛鳥週間ポスター原画コンクール】

中学生の部 金賞 西村 春佳（3年）

朝田 海南、門積 功武（以上、3年）
澤田 優菜、末政 陽菜
平岡 未央、堀 慎之介
水牧 凜（以上、2年）

令和2年度「学びのアンケート」



夏に実施した上記アンケート結果についてお知らせします。

塾を含まない家庭学習の平均時間は85分で、前年度比1分減でした。学年別では3年生が2年生時比8分増、前年度3年生比2分増で、進路選択に向けた努力がうかがえます。全体を時間別に見ると、30分以下の生徒は12%。2時間以上家庭学習をする生徒は28%で、昨年度より8%減っています。1学期は臨時休業等があり、十分な家庭学習指導（家庭での学習習慣づくり）が遅れていたと考え、『学習の手引き』を活用した指導を行い、家庭学習の充実と質の向上を図りました。

家庭学習の内容では、「宿題だけ」「宿題と塾」「プラス自分なりの学習」がそれぞれ3割程度ですが、「プラス自分なりの学習」の割合が昨年度より5ポイント減少しました。学習の方法も、無計画または計画してもその通りにできない割合が61%を占めています。学習習慣、学習時間の定着が課題です。

家庭学習の雰囲気では、音楽やテレビがついている生徒が増えています。特に電話を手元に置いている生徒が3ポイント増となっており、危惧しています。この状況を変えなければと考えている生徒は全体の43%で、「着信によって集中力が切れる」「手元について遊んでしまうものがある」ことを課題としてあげている生徒が多いです。一方で、集中力を高め、効率よく学習するために、決まった場所で静かに、スマホの電源を切って学習する生徒が学力を伸ばしている現状があります。中学校のメディアルールを守り、けじめのある生活・学習習慣が学力向上の基盤になります。

テレビやゲームの時間は、全体で49%の生徒が2時間以上使用しており、昨年度から10%程度増加しています。学年別では、1年生が53%、2年生34%（1年時37%）、3年生49%（2年時49%）です。1年生は半数以上が2時間以上TV・ゲームに費やしています。学習時間の確保が難しく課題が終わらない、または睡眠時間が削られ授業に集中できないなどの悪循環が起こりえます。スマホ所持率が本校でも7割を超えました。限りある時間の中で、優先事項として学習時間をつくり出し、メディアとも上手く接していきましょう。